

78 ホームカミングデイ —卒業生・地域住民との交流を求めて—

近年、日本の大学では、海外の大学を参考にホームカミングデイを開催する事例が増えています。国内におけるホームカミングデイの理念や開催形態は各大学によって異なりますが、多くの場合は卒業生を主な対象に、同窓生間の旧交を温めたり、母校の近況を知ってもらったりする機会を提供する行事として行われており、すでに40回以上の歴史をもつ私立大学もあります。

本学では、2008(平成20)年10月18日に、第4回名古屋大学ホームカミングデイが開催されます。今回のホームカミングデイでは、地域と大学で考える「人と地球環境」をメインテーマとして、卒業・修了生、元教職員、学生の家族をはじめ、地域住民が本学東山キャンパスに集って参加者間の交流が深まるものと思われまます。

本学のホームカミングデイは、第1回が2005(平成17)年10月23日に、第2回が2006(平成18)年9月30日に、第3回が2008(平成20)年2月2日に、それぞれ本学の全学同窓

会との共催により開催されています。約2,000名の参加を得た第1回ホームカミングデイでは、試行的に本部行事および部局行事の二本立てで各種の催しが行われましたが、この基本的なスタイルは現在に引き継がれています。第2回では、メインテーマ「宇宙から地球へ」が設定され、このテーマに即した講演会などの全学企画や各部局独自の様々な企画が行われ、約4,000名の参加者が思い思いに楽しむ姿がみられました。第3回は過去2回とは異なり、豊田講堂改修・増築工事の竣工式に合わせて2月に開催されました。このときは厳冬期にもかかわらず約2,500名の参加がありました。

本学のホームカミングデイは、過去3回の実績によって本学の定例行事として定着しつつあります。今後も本学ホームカミングデイは、大学の構成員・卒業生やその家族、地域住民が各々の立場で参画するスタイルを確立しながら、その歩みを重ねていくことでしょう。



- | | | |
|---|---|---|
| 1 | 2 | 1 表紙写真で第1回ホームカミングデイを報じる本誌 No.150 |
| | 3 | 2 第2回ホームカミングデイ「交流サロン」あいさつする平野総長 (本誌 No.162) |
| | 4 | 3 同「交流サロン」の様子 (同上) |
| | | 4 豊田講堂改修竣工記念ホームカミングデイ式典の様子 (本誌 No.178) |